

ガス事業法施行規則の一部を改正する省令案 新旧対照条文
 ○ガス事業法施行規則（昭和四十五年通商産業省令第九十七号）

（傍線部分は改正部分）

改正案	現行
<p>（成分の検査方法）</p> <p>第二十九条 法第二十九条の規定によるガスの成分の検査は、次の各号に掲げるところにより行わなければならない。ただし、ガス中の硫黄全量、硫化水素及びアンモニアの成分が原料の種類に照らして一定数量以下であることが明らかであるとして経済産業大臣（一般ガス事業者であつて、その事業の用に供するガス工作物の設置の場所が一の産業保安監督部の管轄区域内のみにあるもの（供給区域内におけるガスメーターの取付数が百万個を超えるものを除く。）に係る場合は、産業保安監督部長。以下この項において同じ。）の承認を受けた者がその承認を受けたところに従つてガスの製造を行う場合及びガスの使用者に対し専用の導管により大口供給を行う場合にあつては、検査することを要しない。</p> <p>一 ガス（天然ガス又はプロパン、ブタン、プロピレン若しくはブチレンを主成分とするガス及びこれらを原料として製造したガス並びにこれらに空気を混入したガスを除く。）の硫黄全量、硫化水素及びアンモニアについて毎週一回、製造所の出口及び他の者から導管によりガスの供給を受ける事業場の出口（当該出口における測定が困難な場合において経済産業大臣が指定したときは、その指定する場所）において、日本工業規格K二三〇一（二〇〇九）「燃料ガス及び天然ガス—分析・試験方法」に規定する方法により検査するものとす</p>	<p>（成分の検査方法）</p> <p>第二十九条 法第二十九条の規定によるガスの成分の検査は、次の各号に掲げるところにより行わなければならない。ただし、ガス中の硫黄全量、硫化水素及びアンモニアの成分が原料の種類に照らして一定数量以下であることが明らかであるとして経済産業大臣（一般ガス事業者であつて、その事業の用に供するガス工作物の設置の場所が一の産業保安監督部の管轄区域内のみにあるもの（供給区域内におけるガスメーターの取付数が百万個を超えるものを除く。）に係る場合は、産業保安監督部長。以下この項において同じ。）の承認を受けた者がその承認を受けたところに従つてガスの製造を行う場合及びガスの使用者に対し専用の導管により大口供給を行う場合にあつては、検査することを要しない。</p> <p>一 ガス（天然ガス又はプロパン、ブタン、プロピレン若しくはブチレンを主成分とするガス及びこれらを原料として製造したガス並びにこれらに空気を混入したガスを除く。）の硫黄全量、硫化水素及びアンモニアについて毎週一回、製造所の出口及び他の者から導管によりガスの供給を受ける事業場の出口（当該出口における測定が困難な場合において経済産業大臣が指定したときは、その指定する場所）において、日本工業規格K二三〇一（二〇〇九）「燃料ガス及び天然ガス—分析・試験方法」による改正後の日本工業規格K二三〇一</p>

2。

- 11 (略)
- 2 (略)

様式第 17 (第 21 条、第 88 条、第 97 条の 8、第 99 条関係)

熱量測定記録表

(略)
(削除)

(質量重量)
(酸化水素) 成分試験記録表
(アセチレンガス)

測定内容	測定場所	測定日	年	月	日
ガスエンジン		ガスエンジン			
試験内容	燃料消費量試験 (質量重量)	燃料消費量の測定 (質量重量)	水	空気	窒素
試験時間	9:00-10:00	平均	9:00	10:00	9:00
終了時刻	9:00-10:00	平均	9:00	10:00	9:00
燃料消費量	$V = 10.0 \text{ L}$	平均	$V = 10.0 \text{ L}$		
燃料消費量 Δ	燃料消費量の測定 (質量重量)	燃料消費量の測定 (質量重量)	$\Delta V = 10.0 \text{ L}$		
平均燃料消費量 \bar{V}	$\bar{V} = 10.0 \text{ L}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				

(二〇〇八) 「燃料ガス及び天然ガス—分析・試験方法」に
規定する方法により検査するものとする。

- 11 (略)
- 2 (略)

様式第 17 (第 21 条、第 88 条、第 97 条の 8、第 99 条関係)

熱量測定記録表

(略)

1. JIS K 1401、JIS K 1402 の規定に従って、JIS K 1401 (2018) の規定に従って測定を行う。
2. 測定結果は、JIS K 1401 の規定に従って測定を行う。
3. 燃料消費量の測定結果を算出する式は、 $V = \frac{W}{\rho}$ とし、 ρ は、燃料消費量の測定結果を用いて算出する。

(質量重量)
(酸化水素) 成分試験記録表
(アセチレンガス)

測定内容	測定場所	測定日	年	月	日
ガスエンジン		ガスエンジン			
試験内容	燃料消費量試験 (質量重量)	燃料消費量の測定 (質量重量)	水	空気	窒素
試験時間	9:00-10:00	平均	9:00	10:00	9:00
終了時刻	9:00-10:00	平均	9:00	10:00	9:00
燃料消費量	$V = 10.0 \text{ L}$	平均	$V = 10.0 \text{ L}$		
燃料消費量 Δ	燃料消費量の測定 (質量重量)	燃料消費量の測定 (質量重量)	$\Delta V = 10.0 \text{ L}$		
平均燃料消費量 \bar{V}	$\bar{V} = 10.0 \text{ L}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				
燃料消費量の測定誤差 δ	$\delta = 2.31\% \times \frac{1}{\sqrt{10.0}}$				

様式第 24 (第 29 条、第 97 条の 8、第 99 条関係)

算 算 量	積 挂 表 書	フ ゾ ン ニ ヲ	互 算 表 書	配 比 表 書	フ ゾ ン ニ ヲ
<p><全株の総額(フロンティア)の取得コスト> 自給した株の取得 $100000 \times 1000 = 100000000$ 売却した株の取得 $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>全株の取得コスト $80000000 \div 100000 = 800$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>	<p><全株の取得コスト(フロンティア)の取得コスト> $100000 \times 1000 = 100000000$ $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>	<p><全株の取得コスト(フロンティア)の取得コスト> $100000 \times 1000 = 100000000$ $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>	<p>個別株 $100000 \times 1000 = 100000000$ $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>	<p>個別株 $100000 \times 1000 = 100000000$ $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>	<p>個別株 $100000 \times 1000 = 100000000$ $200000 \times 1000 = 20000000$ 取得コストの総額 $100000000 - 20000000 = 80000000$</p> <p>個別株に付いた取得コスト $800 \times 1000 = 800000$</p> <p>取得コスト $100000 \times 1000 - 800000 = 99200000$</p>

<p>問題 1. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は実数とする。</p> <p>2. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は複素数とする。</p> <p>3. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は複素数とする。ただし、x, y は 1 の n 乗根とする。</p>	<p>問題 1. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は実数とする。</p> <p>2. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は複素数とする。</p> <p>3. 2次元平面上の点 (x, y) を満たす方程式 $x^2 + y^2 = 1$ の解を求めよ。ただし、x, y は複素数とする。ただし、x, y は 1 の n 乗根とする。</p> <p>解答</p> <p>1. $x^2 + y^2 = 1$ は、$x = \cos \theta, y = \sin \theta$ とおくと、$x^2 + y^2 = \cos^2 \theta + \sin^2 \theta = 1$ となる。したがって、$(x, y) = (\cos \theta, \sin \theta)$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。また、$(x, y) = (-\cos \theta, -\sin \theta)$ も、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。したがって、$(x, y) = (\pm \cos \theta, \pm \sin \theta)$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。したがって、$(x, y) = (\cos \theta, \sin \theta), (\sin \theta, \cos \theta), (-\cos \theta, -\sin \theta), (-\sin \theta, -\cos \theta)$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。したがって、$(x, y) = (\pm \cos \theta, \pm \sin \theta)$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。</p> <p>2. $x^2 + y^2 = 1$ は、$x = e^{i\theta}, y = e^{-i\theta}$ とおくと、$x^2 + y^2 = e^{2i\theta} + e^{-2i\theta} = 2\cos 2\theta = 1$ となる。したがって、$\cos 2\theta = \frac{1}{2}$ となる。したがって、$2\theta = \pm \frac{\pi}{3} + 2k\pi$ となる。したがって、$\theta = \pm \frac{\pi}{6} + k\pi$ となる。したがって、$(x, y) = (e^{i(\pm \frac{\pi}{6} + k\pi)}, e^{-i(\pm \frac{\pi}{6} + k\pi)})$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。したがって、$(x, y) = (\pm e^{i\frac{\pi}{6}}, \pm e^{-i\frac{\pi}{6}}), (\pm e^{i\frac{5\pi}{6}}, \pm e^{-i\frac{5\pi}{6}})$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。</p> <p>3. $x^2 + y^2 = 1$ は、$x = e^{i\theta}, y = e^{-i\theta}$ とおくと、$x^2 + y^2 = e^{2i\theta} + e^{-2i\theta} = 2\cos 2\theta = 1$ となる。したがって、$\cos 2\theta = \frac{1}{2}$ となる。したがって、$2\theta = \pm \frac{\pi}{3} + 2k\pi$ となる。したがって、$\theta = \pm \frac{\pi}{6} + k\pi$ となる。したがって、$(x, y) = (e^{i(\pm \frac{\pi}{6} + k\pi)}, e^{-i(\pm \frac{\pi}{6} + k\pi)})$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。したがって、$(x, y) = (\pm e^{i\frac{\pi}{6}}, \pm e^{-i\frac{\pi}{6}}), (\pm e^{i\frac{5\pi}{6}}, \pm e^{-i\frac{5\pi}{6}})$ は、$x^2 + y^2 = 1$ を満たす。</p>
---	---